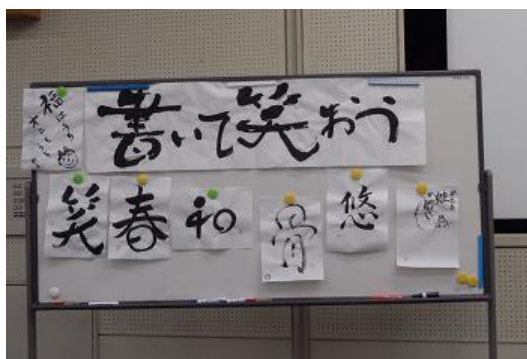




講座「お米と日本人の暮らし」
講師の白央篤司さん ↑

第219号の主な記事

- 1面 子どもと子どもの本をつなぐ講座・
カフェトーク
- 2面 子どもと子どもの本をつなぐ講座・
カフェトーク・家庭生活支援講座
予約ベスト10
- 3面 図書館サービスあれこれ・調べ方のツボ
しせつめぐり・第7回 宇都宮美術館
- 4面



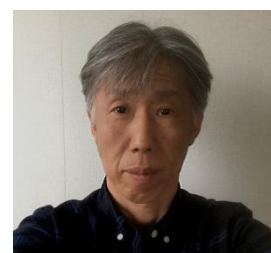
カフェトーク 書いて笑おう 参加者の書 ↑

どしどし

第219号
平成30年4月1日
宇都宮市立
中央図書館
東図書館
南図書館
上河内図書館
河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

読書生活



横川東小学校長
松本 和士

読書を楽しむ子

小学校高学年の頃、土曜日半日の授業を終えた午後は、友達と公立の図書館に通っていた。ホールを抜け、広い館内に配された書架が目に入ると、少し高揚した気分になったことを覚えている。手に取る本は、少年向けの文学作品や伝記、推理小説や科学小説など様々で、こだわりのない読み方をしていったが、すべてが面白く、歩いて1時間半はかかる道のりであったが、図書館に足を運ぶことをいつも楽しみにしていた。この読書生活で得たのは些細なものだが、考え方や趣向など今の自分の有様に大きく影響しているようにも思う。

本校では図書室利用や家読を推奨するための取組に加え、図書ボランティアや読み聞かせボランティアの皆さんの熱心な活動に支えられ、様々な形で読書活動を推進しており、読書量も年々増加している。大規模校ということもあり、図書室はいつも多くの児童でにぎわっている。本を開き夢中になって読書を楽しむ子どもたちの姿をとてうれしく思う。

子どもと子どもの本をつなぐ講座 「お米と日本人のくらし」

1月21日(日) 中央図書館で、フードライターの白央篤司(はくおうあつし)さんをお招きし、講座「お米と日本人のくらし」を開催しました。

日本で育てられているお米は約600種類もあることや、栃木県は生産量第8位で、「なすひかり」という最上ランクAを獲得したお米も生産しているということです。

混ぜご飯のルーツは、少ないお米を食べべつなぐための智慧として、大根や芋・雑穀を混ぜて嵩(かさ)増しする「糧飯(かてめし)」だったという辛い歴史などを聞かせてもらいました。

好きなおにぎりの具は何ですか?という講師の質問に参加者のみなさんからは「サケ」「ツナ」「たらこ」などの声があり、小さな男の子からの「塩むすび!」の声に、「通だね!」と講師を喜ばせる場面もありました。

参加者からは「身近だけど知らないことがいっぱいありました」「ごはんを大事に食べたくなりました」などの声が寄せられました。



→会場には関連図書を多数用意しました

子どもと子どもの本をつなぐ講座とは

家庭での読み聞かせや読書の必要性を大人が十分理解し、各家庭や地域において積極的により子どもの読書活動を推進してもらうための講座です。

中央図書館「カフェトーク」 「カフエイトーク」 「カフエイトーク」

1月28日(日)に、中央図書館で、「カフエイトーク 書いて笑おう」を開催しました。

講師には、書家の益子史舩(まさしこしほう)さんをお招きし、書道に関するお話と実技の二部構成で行いました。

はじめに、「書」を身近に感じてもらうようにと、変わった素材の紙に文字や線を書いたり、筆の代わりに綿棒やモールを用いて書いたりなど、色々な「書」の楽しみ方についてのお話をさせていただきました。

次に、実技では、丸や線など、太さや細さ、力の強弱による書に現れる違いを体験しました。参加した方たちは、2枚3枚と書いていくうちに、隣同士で作品を見せ合いながら和やかに会話を交わしていました。

出来上がった作品には、作品が完成したことを示す画印を押し、全員の作品を並べて、写真を撮りました。

また、益子さんお勧めの書に関する本も紹介していただき、皆関心を持って聞いていました。

参加者からは「筆で書くのがこんなに楽しいとは思わなかった」「今回の作品は良い記念になりました」などの感想をいただきました。



南図書館 家庭生活支援講座 「じいじ・ばあばの安心孫育て」



2月2日(金) 南図書館サザンクロスホールで、家庭生活支援講座「じいじ・ばあばの安心孫育て」を開催しました。当日は前夜からの雪で非常に足元が悪い中、44名もの参加者にお集まりいただきました。

講師の村上誠さんは、NPO法人ファザーリング・ジャパンのイクジブプロジェクトリーダーや、NPO法人孫育て・ニッポンの理事を務められている、孫育てのプロフェッショナルです。

祖父母のための孫育ての極意のほか、講師ご自身の家族による多世代育児や、現代の子どもを取り巻く環境など、さまざまな切り口から今どきの孫育てについてお話しいただきました。

講演の合間に行われた「孫育て検定」と題したクイズは、子育ての世代間ギャップに気づきを与える内容で、参加者はうなずきながら聞き入っていました。

順位	タイトル	著者名	出版社
1	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
2	マスカレード・ナイト	東野圭吾	集英社
3	銀河鉄道の父	門井慶喜	講談社
4	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子	河出書房新社
5	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	マガジンハウス
6	この世の春 上	宮部みゆき	新潮社
7	わたしを離さないで	カズオ・イシグロ	早川書房
8	この世の春 下	宮部みゆき	新潮社
9	屍人荘の殺人	今村昌弘	東京創元社
10	キラキラ共和国	小川糸	幻冬舎

予約
ベスト10



平成30年3月14日現在

図書館サービス あれこれ

南図書館…「宇都宮市南部地区 地域資料コーナー」

南図書館には、宇都宮市南部の雀宮・横川・瑞穂野地区に関する歴史などの地域資料を収集した「宇都宮市南部地区 地域資料コーナー」があります。



南図書館のある南部地区には、上神主・茂原官衙（かみこうぬし・もばらかんが）遺跡、茂原古墳群、東谷（とうや）・中島地区遺跡群などの遺跡が数多くあります。南部地区の歴史や特性を紹介するため、平成25年、地域資料コーナーとは別に「宇都宮市南部地区 地域資料コーナー」を設けました。

このコーナーでは、関連する埋蔵文化財調査報告書など、周辺地域の資料を重点的に収集しています。この他にも、南図書館付近の航空写真や南部地区で発行している広報誌などもあります。



↑「宇都宮市南部地区
地域資料コーナー」



↑講座にちなんだ展示の様子
(雀宮宿跡の出土品)

また、各地区の歴史に関するブックリストを作成し配布しています。リストは、図書館のホームページでも見ることが出来ます。詳しくは『図書館のホームページく調べ物相談くパスファインダー（調べ方案内）』でご覧ください。

さらに郷土の歴史に親しんでもらうため、イベント「南としょかん祭」などの際に、南部地区の歴史に関する講座や展示を実施しています。

南図書館にお越しの際は、南部地区 地域資料コーナーに、ぜひお立ち寄りください。

調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル .. 25

「かさねとは八重なでしこの名なるべし」という句は松尾芭蕉の句でしょうか。矢板市にある「かさね橋」の由来になっている句のようです。



調べ方

調べている句がはつきりしているので、俳句の辞典（名句辞典）の索引を調べました。『評解 名句辞典』は、初句（俳句の書き出し）の索引のほか、二句や季語の索引もあり、全句がわからなくても調べることが出来ます。また、矢板市にある「かさね橋」の由来となっていることから、地域資料の文学や地理・地誌の棚も探しました。

回答

『評解 名句辞典』には、芭蕉の門人・曾良が「奥の細道」の旅で芭蕉と共に那須野に赴いたときの句とあります。また、『文学碑の旅 栃木県 上巻』に、矢板市の補陀落山千手院観音寺に「かさねとは八重撫子の名なるべし 曾良」と書かれた句碑があると紹介されています。しかし、『名句辞典』『おくのほそ道 全訳注』には、曾良が「奥の細道」の旅路を記した「曾良旅日記」にこの句の記載がなく、「奥の細道」にのみ確認できるため、芭蕉の句ともいわれているとあります。

参考資料

- 『評解 名句辞典』麻生磯次／著（創拓社 1990年）
- 『名歌名句辞典』佐々木幸綱／編（三省堂 2004年）
- 『おくのほそ道 全訳注』松尾芭蕉／著 久富哲雄／訳（講談社 1989年）
- 『文学碑の旅 栃木県 上巻』寺内恒夫／著（落合書店 1988年）

東図書館作成

しずくめくら

第7回 宇都宮美術館

平成9年3月23日、広大な森の中に宇都宮美術館はオープンしました。里山をイメージしたこの森では、オオタカやノウサギに出会うこともあります。



↓ 小高い場所にある美術館

自然豊かな中に建つ美術館はバリアフリーが施されています。西洋や日本の近代・現代美術をはじめ、デザイン作品、宇都宮ゆかりの作品などコレクションも六千六百点余を数えるまでにになりました。

■特徴
所蔵しているコレクション展を年3回、企画展を年に5、6回行っています。また、教育普及事業にも力を入れています。美術館の外での活動として「トビダス美術館」があります。



明るいエントランス

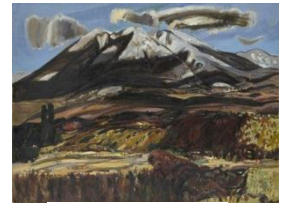


自然に開かれた美術館

館内入ってすぐに図書のスペースがあります。美術関係の図書を多数所蔵しており、誰でも自由に閲覧することができま



図書のスペース



灰野文一郎
《冬の那須山》

4月15日まで開催の「灰野文一郎展」
4月29日からは「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」が開催されます。



お話を伺った福島さん

■施設を利用するには

企画展・展覧会によって観覧料は異なりますので、展覧会チラシをご覧ください。宇都宮市在学または在住の高校生以下は観覧無料です。コレクション展の観覧料は下記をご覧ください。

■担当からの一言

美術作品の鑑賞はもちろんのこと、美術館の周りにある森を散策しにいらしてください。新緑の季節は若芽の黄緑色が大変美しいです。

区分	個人	団体(1名につき)
一般	310円	250円
大学生・高校生	210円	160円
小学生・中学生	100円	80円

宇都宮美術館

- 所在地 〒320-0004 宇都宮市長岡町1077
- 連絡先 028-643-0100
- 休館日 月曜日（ただし、祝日の場合は開館し翌日）
祝日の翌日（ただし、土・日・祝の場合は開館）
- 開館時間 9:30~17:00（入館は16:30まで）
- ホームページ <http://u-moa.jp/>

館報としょかん 第219号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>
(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	Tel028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	Tel028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	Tel028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	Tel028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	Tel028-673-6782



◆編集後記

4月は桜の季節とともに新生活が始まる季節です。図書館では趣味や資格の本を多数用意しています。新しく何かに挑戦するのはいかがでしょうか。新たな自分に出会えるかもしれませんよ。
(中央)